

### 3 法的外来樹木の選択的除去と萌芽抑制

外来生物法で要注意外来生物に指定されているトウネズミモチ（外来種）の実生や高木が、緑地内のあちこちで繁茂していました。これにより、在来種（主にネズミモチ）との競合、交雑、実を食べる鳥類のエサ資源のバランスを崩すなどの問題がありました。生物多様性の減退に与える影響が大きいため、トウネズミモチの選択的除去を実施しました。

トウネズミモチは常緑で成長が早く濃い日陰をつくるため、他の植物を被圧します。緑地外に植栽されていたトウネズミモチの実を食べた鳥が林内で糞として排出することで持ち込まれたと考えられます。



上 作業前  
トウネズミモチの  
繁茂した林縁

中 作業後  
トウネズミモチを  
伐採したことにより  
明るく軽やかな印象に

左 トウネズミモチの未熟な実